

キッズ・モニターアンケートの概要

「美術館(びじゅつかん)と美術(びじゅつ)について」

アンケートの結果は以下のとおりでした。

キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

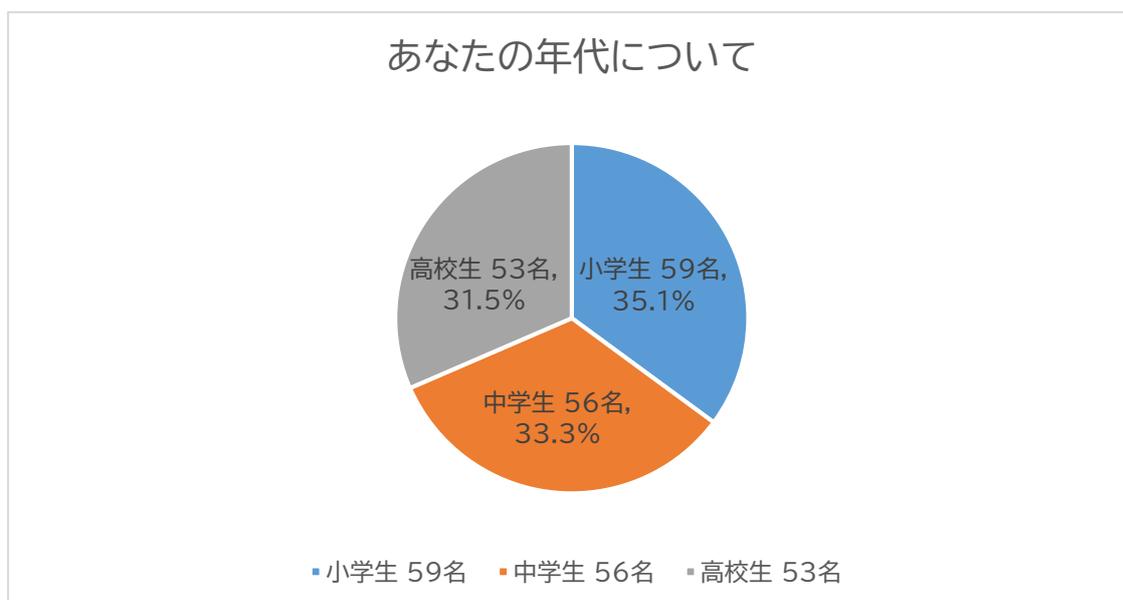
1. 実施期間 令和3年2月8日－2月27日
2. 回答者数 168人(対象モニター数:549人)
3. 回答率 30%
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 環境生活部 美術館 学芸普及課

アンケート結果概要

Q1.あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下のグラフのように、小学生、中学生、高校生の割合がほとんど同じという結果になりました。

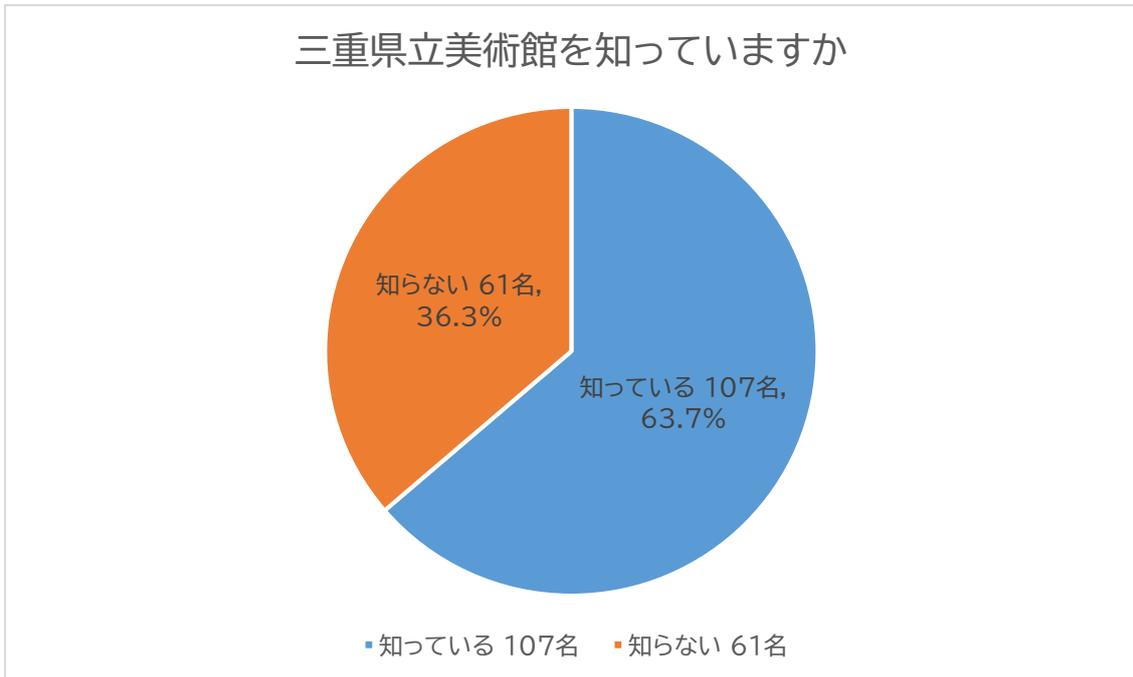


Q2. 三重県立美術館について(1)

あなたは、津市にある三重県立美術館を知っていますか？

【単一回答】

知っていると答えた人が 107 名で 63.7%、知らないと答えた人が 61 名で 36.3%でした。

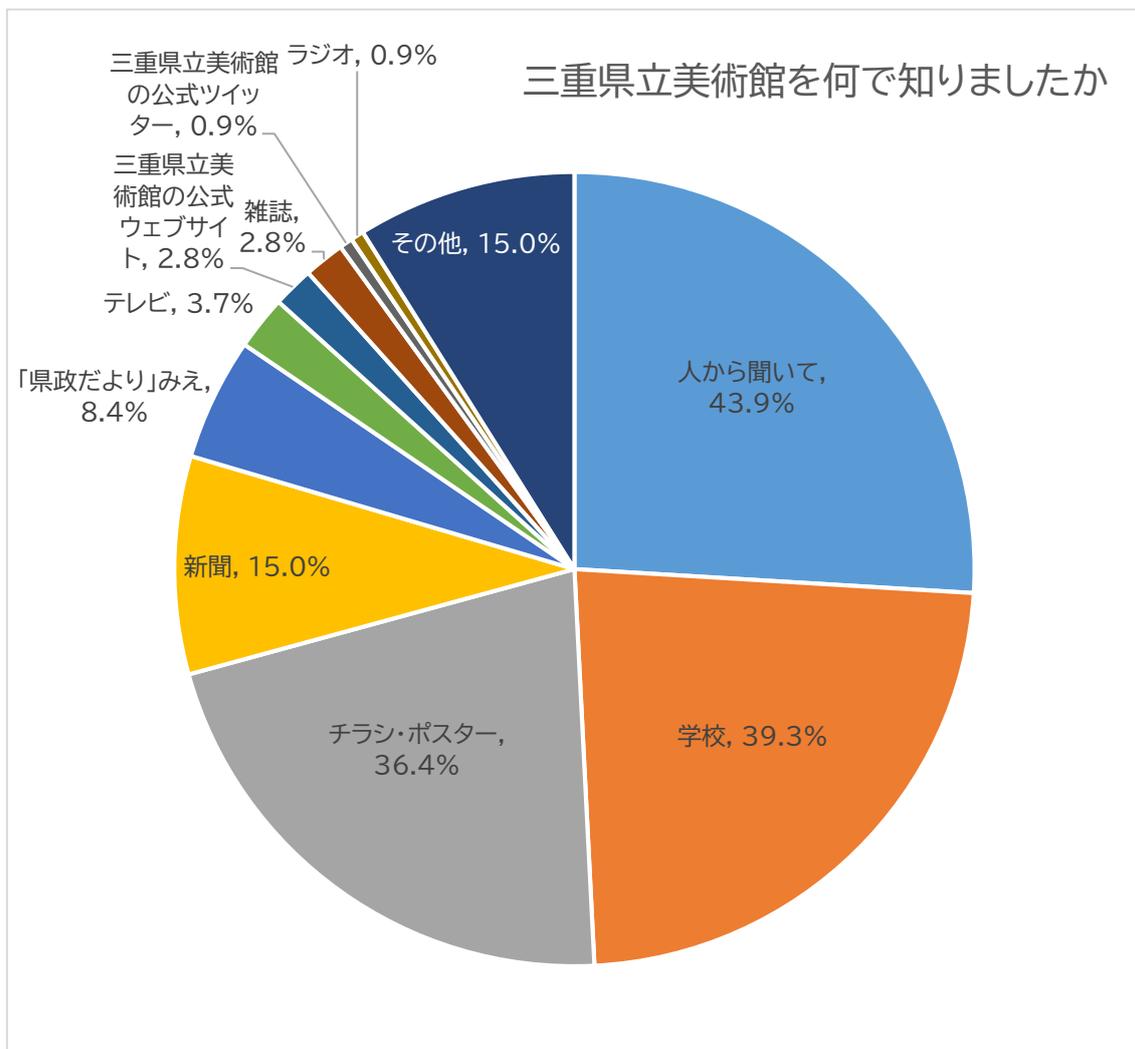


Q3. 三重県立美術館について(2)

Q2で「知っている」と答えた人に聞きます。三重県立美術館を何で知りましたか？あてはまるものをすべてえらんでください。

【複数回答】

Q2で三重県立美術館を知っていると答えた107名に、美術館を何で知ったか聞きました。「人から聞いて」と答えた人が43.9%で最も多く、次が「学校」で39.3%、3番目に「チラシ・ポスター」(36.4%)が続きます。「その他」には、「親に連れて行ってもらった」「自然に知っている」等の回答が見られました。



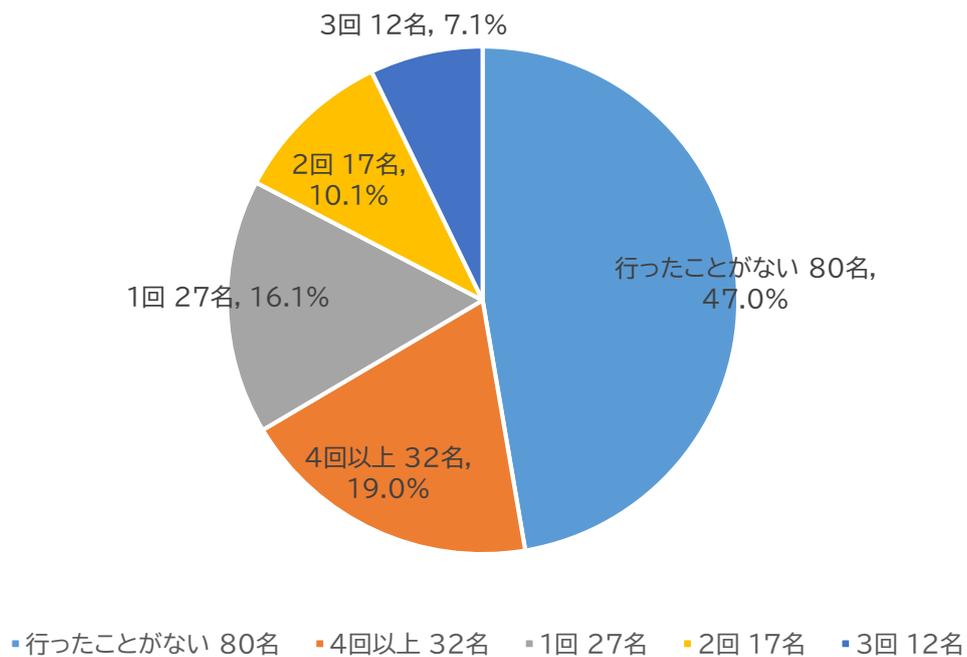
Q4. 三重県立美術館について(3)

あなたは今まで三重県立美術館に何回行ったことがありますか？

【単一回答】

三重県立美術館に今まで何回行ったことがあるか聞きました。「行ったことがない」が一番多く80名で47.0%(ちなみにQ2で美術館を知らないと答えた人は61名)、次いで4回以上が32名で19.0%という結果になりました。最も割合が高かったのは「行ったことがない」だった一方、5人に1人程度はこれまで4回以上県立美術館を訪問していました。

今まで三重県立美術館に何回行ったことがありますか

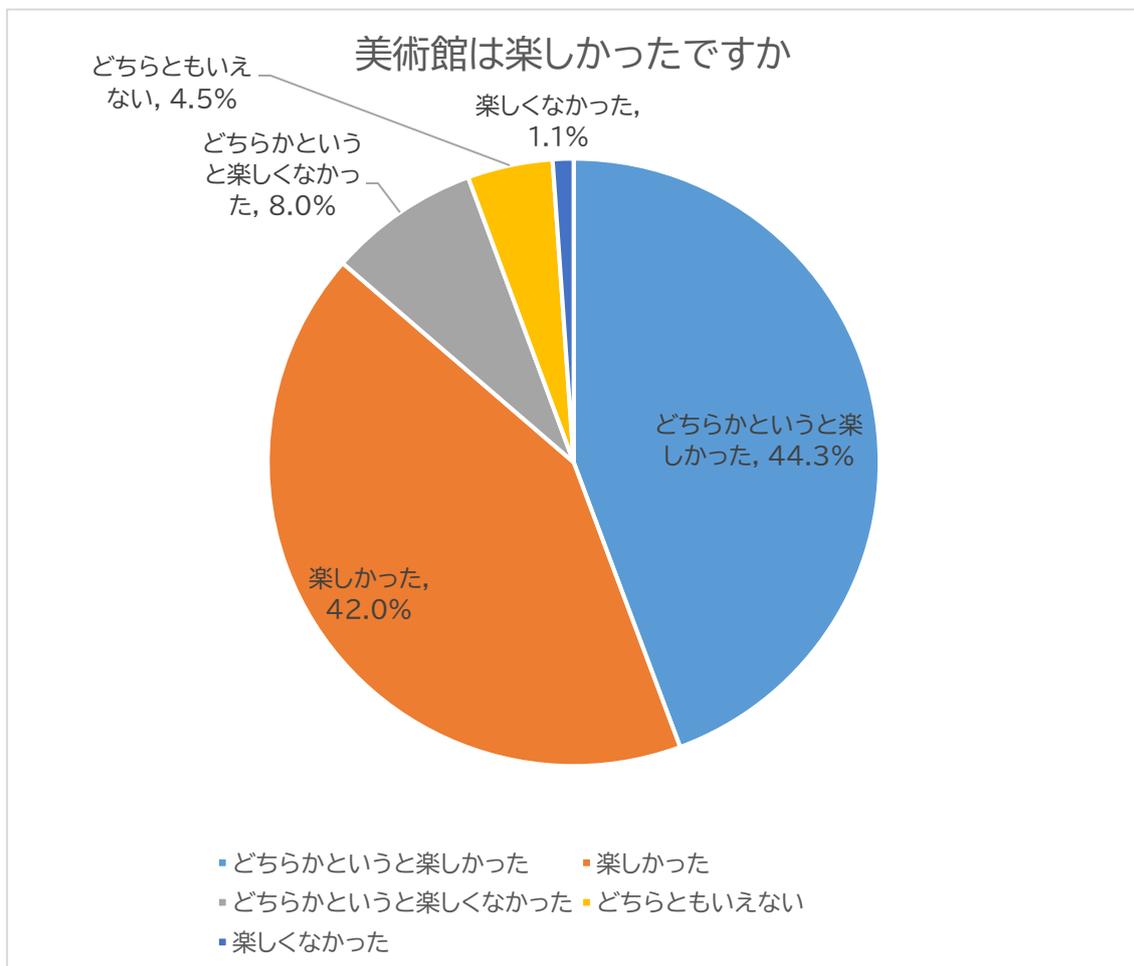


Q5. 三重県立美術館の印象(1)

Q4で県立美術館に行ったことがあると答えた人に聞きます。美術館は楽しかったですか？

【複数回答】

Q4で美術館に行ったことがあると答えた88名に、美術館が楽しかったか聞きました。「どちらかという楽しかった」を選んだ人が一番多く44.3%、「楽しかった」を選んだ人が42.0%で2番目に多いという結果になりました。「楽しかった」「どちらかという楽しかった」の割合を合計すると86.3%となります。

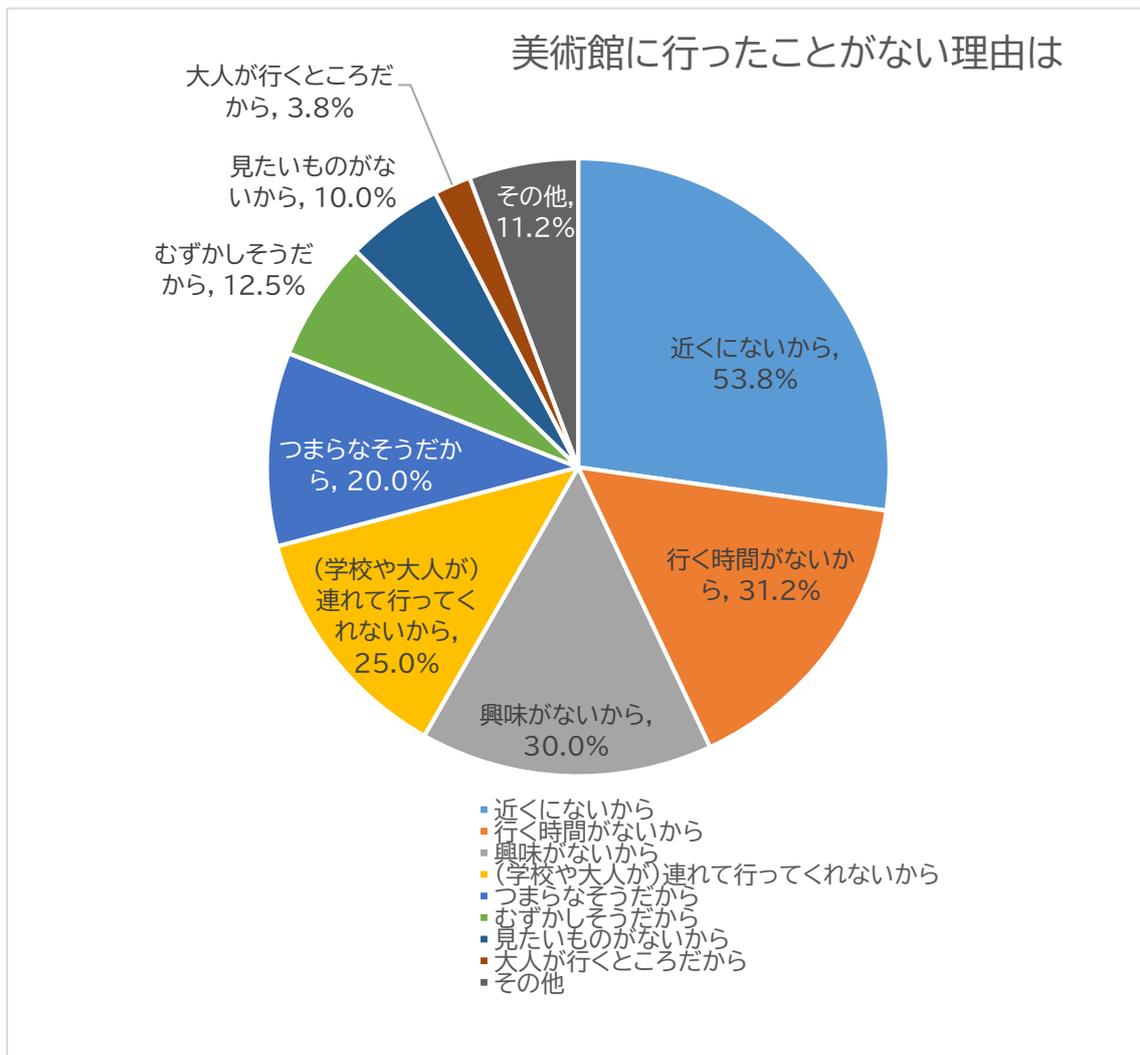


Q6. 三重県立美術館の印象(2)

Q4で県立美術館に行ったことがないと答えた人に聞きます。行ったことがない理由は何ですか。あてはまるものをすべてえらんでください。

【単一回答】

Q4で美術館に行ったことがないと答えた80名に、行ったことがない理由を尋ねました。最も多かったのが「近くがないから」という回答で53.8%、次が「行く時間がないから」で31.2%でした。「その他」を選んだ人の回答で多かったのは、「知らなかったから」というものでした。



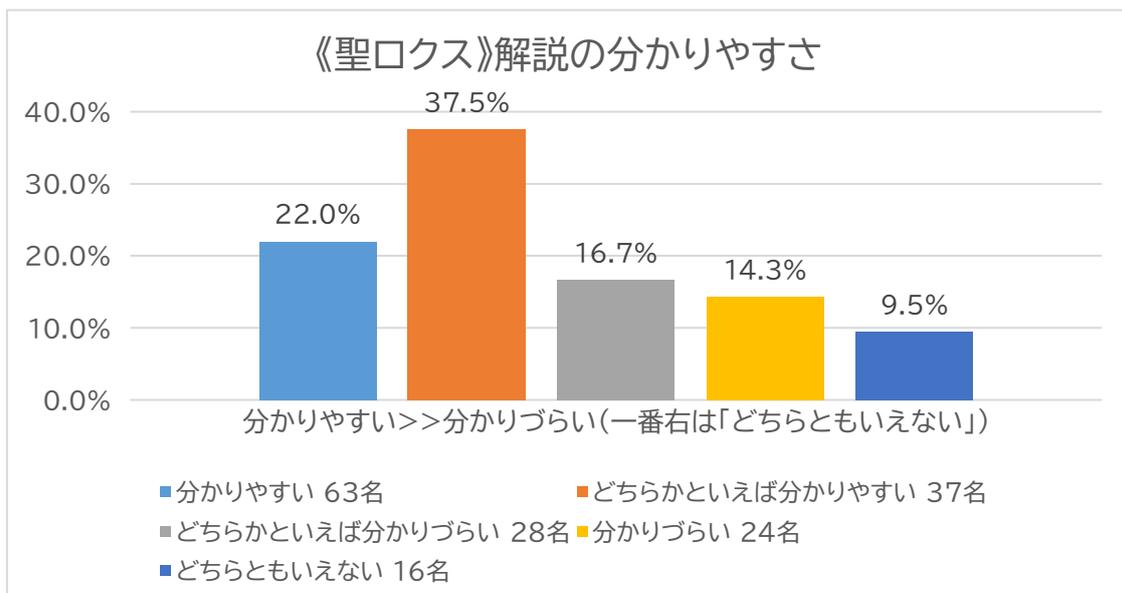
Q7. 解説の分かりやすさ(1)【1つえらぶ】

次の文章は、作品のとなりに掲示(けいじ)するために書かれた説明文です。この文章は分かりやすいですか？

「聖(せい)ロクスはフランス生まれのキリスト教の聖人(せいじん)。感染症(かんせんしょう)「ペスト」から人々を救(すく)ううちに、ロクス自身も病に感染してしまいます。森でたおれていた彼(かれ)を助けたのは、1匹(ひき)の犬でした。この作品にも画面の右側にパンをくわえた犬が描(えが)かれています。天使がさわっているロクスの右足には、感染のしるしであるきずが見えます。聖ロクスは感染症から人々を守る聖人として、ペストが流行した時には広く信仰(しんこう)を集めました。」※アンケートには画像 URL も貼付

【単一回答】

2021年3月現在、美術館の常設展示室には、「中学生が分かる」ことを目指して学芸員が執筆した解説を掲示しています。今年度は来館する中学生に意見をもらう機会がほとんどなかったので、キッズ・モニターのアンケートを活用して分かりやすさの調査を行いました。西洋の伝統的な宗教画《聖ロクス》の作品解説については、「どちらかといえば分かりやすい」が最多で37.5%、続いて「分かりやすい」が22.0%で、2つを合計すると2分の1を超える59.5%になりました。一方で「分かりづらい」を選んだ人も24名いました。

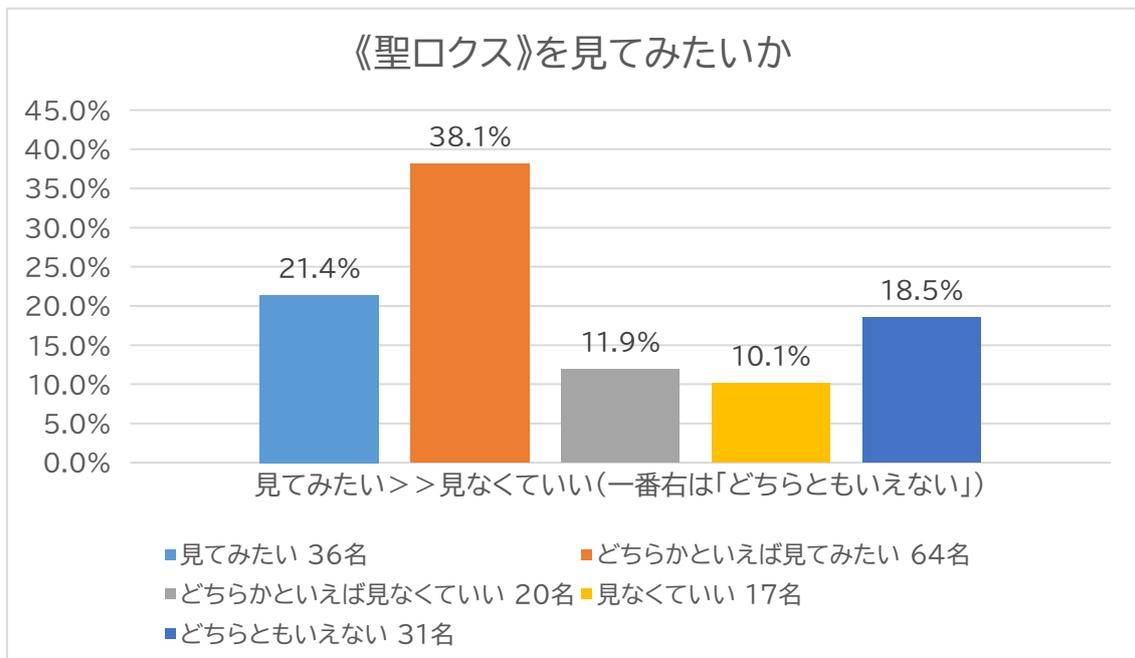


Q8. 解説の分かりやすさ(2)

Q7の文章を読んで、作品(本物)をじっくり見てみたいと思いましたが？

【単一回答】

Q7 の《聖ロクス》の解説を読んで、作品(本物)をじっくり見てみたいか聞きました。作品解説が、読んだ人に作品そのものをじっくり見たいと思わせる文章になっているか調査するための質問でした。結果、Q7 の分かりやすさを尋ねる質問と、よく似た形のグラフになりましたが、「どちらともいえない」を選ぶ人の人数が増えました(31名、18.5%)。



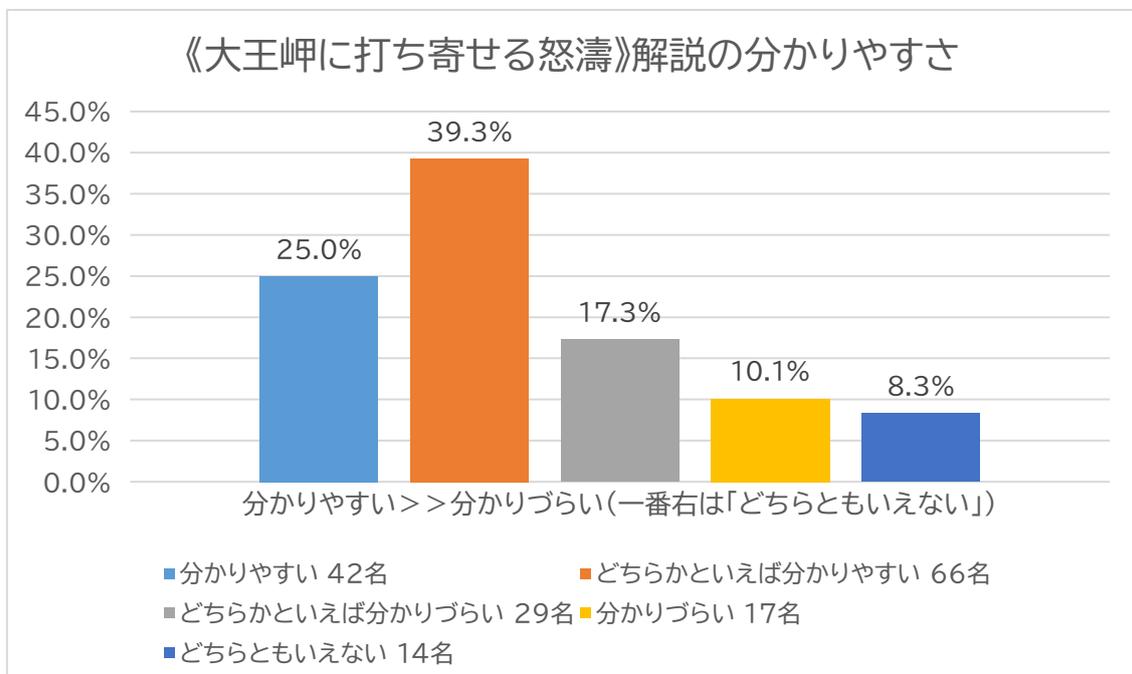
Q9. 解説の分かりやすさ(3)

次の文章は、作品のとなりに掲示(けいじ)するために書かれた説明文です。この文章は分かりやすいですか？

「藤島武二(ふじしまたけじ)は理想の日の出の景色を描(えが)くため、10年にわたって各地で取材をつづけました。三重県志摩市(しまし)の大王崎を描いたこの作品も、その途中(とちゅう)で制作(せいさく)されたものです。遠くの方の波はおだやかで、水平線の上にはヨットが浮(う)かんでいます。一方、手前のきざきざした海岸には大きな波があたっていきおいよく砕(くだ)け散っています。画面がでこぼこしていることから、画家が強い力で絵具を何度も塗(ぬ)り重ねたことが分かります。」※アンケートには画像 URL も貼付

【単一回答】

この設問では、日本の画家が三重県内の景色を見て描いた作品の解説を題材にして、分かりやすさを調査しました。「分かりやすい」「どちらかというと分かりやすい」を選んだ人の割合が計 64.3%となり、《聖ロクス》と比較すると 4.8%高くなっています。



Q10. 解説の分かりやすさ(4)

Q9の文章を読んで、作品(本物)をじっくり見てみたいと思いませんか？

【単一回答】

Q9の《大王岬に打ち寄せる怒濤》の解説を読んで、作品(本物)をじっくり見てみたいか聞きました。

最も多かったのが「どちらかといえば見てみたい」で 42.9%、次いで「見てみたい」が 20.2%でした。「見てみたい」「どちらかといえば見てみたい」の合計は 63.1%となり、《聖ロクス》よりも 3.6%高い結果になりました。

